

CHIBA 赤十字 NOW

2023

Vol. 61



献血

—あなたの優しさが 命をつなぐ—



献血キャラクター けんけっちゃん

献血は、輸血が必要な患者さんの命を救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティア。千葉県では年間、延べ約23万人の方にご協力いただいている献血ですが、昨今は若い世代の献血者が減少傾向にあり、特に現在はコロナ禍の影響でさらに献血者の確保が難しくなっています。

そんな今だからこそ、献血の必要性と血液センターの取り組みを知ってください！

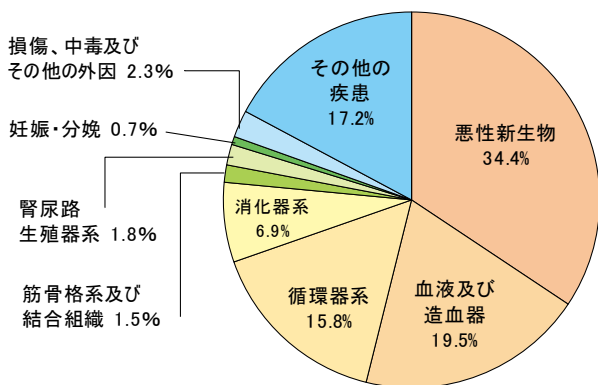


どうして献血が必要なの？

輸血というと、不慮の事故などをイメージする方も多いかもしれませんが、実は集められた血液の多くはがん（悪性新生物）などの病気の治療に使われています。

医療技術が進歩した今でも、血液は人工的に造ることも長期保存することもできません。また、献血できる回数や量には上限があるため、安定的に血液製剤をお届けするためには、年間を通じて多くの方に継続して献血にご協力いただく必要があります。

疾病別輸血状況（令和3年東京都）※不詳は除く



（東京都福祉保健局調べ）

※端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない。

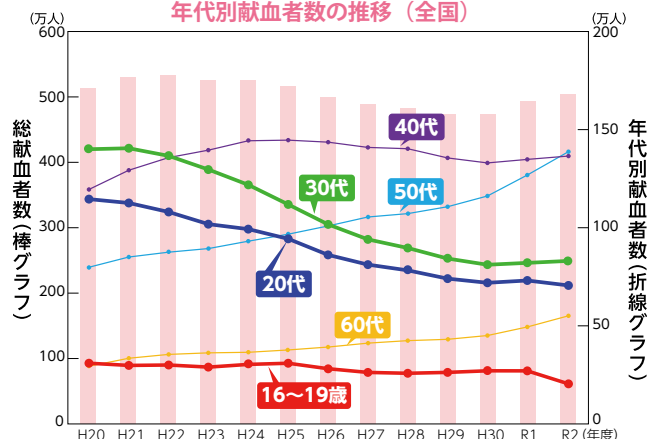


若者の献血者が減少しているの?!

10～30代の献血者数は、平成24年度に約124,917人、令和3年度は76,549人と、この10年で約39%も減少しています。（千葉県内）

血液の多くは高齢者の医療に使われている一方で、献血者の60%以上は50歳未満の方々と、この世代の方々が輸血医療を支えています。少子高齢化が進み、このままのペースで若者の献血者数が減少すると、輸血用の血液が不足して必要な時に輸血できなくなる恐れがあります。

年代別献血者数の推移（全国）



（日本赤十字社調べ）

出典：愛のかたち献血 令和4年4月第27版



「はたちの献血」 キャンペーン実施中

献血者が減少しがちな冬期に、「はたち」の若者を中心に献血へのご協力をお願いするキャンペーンを1月から2月にかけて実施しています。

県内6か所にある献血ルームや献血バスで、ぜひ献血にご協力ください。



キャンペーンキャラクターは女優の高橋ひかるさんと国民的ヒーローのウルトラマン



千葉県内では
1日約150人の患者さんが
輸血を必要としていて
そのためには1日約800人の
献血者が必要なんだっ!

ありがとう の声

～輸血を受けた患者さんからのメッセージ～（千葉県在住・54歳女性）

私は血液の病気で自分の力では思うように血液を作れず、これまでに何度輸血を受けたかわかりません。点滴から流れてくる血液を見るたびに献血をしてくださった方々の善意に支えられ助けられていることを実感しています。また、私に合った血小板が不足した際には同じ型を持つ方がわざわざ出向いて献血をしに来てくださる事も知り、更に感謝の気持ちでいっぱいになりました。たくさんの方々に助けられていることに、心よりお礼申し上げます。



血液センターの職員にインタビュー

千葉県内の血液事業を担っている千葉県赤十字血液センターでは、290人(2023年1月1日時点)の職員が、献血者の受入や採血業務、医療機関への血液製剤の搬送業務などを行なっています。今回は、献血ルームで勤務している職員に、献血者への想いや安全な血液を安定的に患者さんへ届けるための取り組みについて聞きました!

献血者の受付、接遇、献血協力の呼びかけなどの業務を担当。

モノレールちば駅献血ルーム事務 **橋本 正明**さん



献血者の事前検査、採血の業務を担当。

モノレールちば駅献血ルーム看護師 **斎藤 瑠奈**さん



献血者にはいつもどのような気持ちで接していますか?

橋: 献血者の皆様には、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。「また献血をしたい」と思っていただくため、献血ルームにいらっしゃる間は気持ちよく過ごしていただけるよう心がけながら接しています。

斎: 献血で使用する針は、健康診断などで使用されている針と比べるとかなり太いんです。そんな針で採血されることを承知のうえで、毎回勇気を持って献血をしに来てくださる献血者の皆様には尊敬と感謝の気持ちがあるので、どんな時でも真摯に対応しています。



若い世代の献血者が減少していますが、どのような取り組みをしていますか?

橋: 日々献血者の皆様に献血に来てくださった理由をお聴きしているのですが、やはり20~30代の方はSNSをきっかけに来場いただく方が多いので、Twitterを活用して、その日の献血ルームの予約の空き状況やキャンペーンの情報などをこまめに発信するようにしています。また、血液センターでは、県内の小・中学校で出前授業を開催し、若年層に献血への関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。

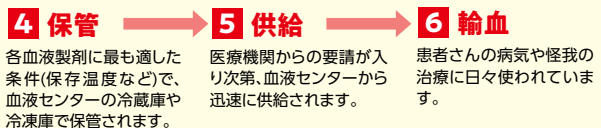
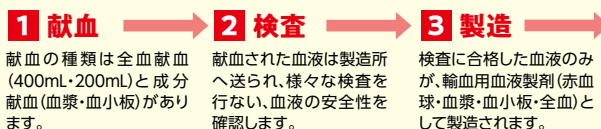


出前授業の様子

安全な血液を患者さんに届けるために、どのような取り組みをされていますか?

斎: 採血に関して言えば、患者さんに安全な血液を届けるため、そして献血者の皆様の安全を守るために、あらゆる手順や管理方法が決められているので、それに沿って採血業務を行なっています。また、献血いただいた血液は、精密な検査をした後に血液製剤となり、適切に保管され、365日24時間体制で医療機関に届けられています。

血液の流れ



献血者との関わりの中で印象に残っていることはありますか?

斎: ご家族が輸血を受けたことがきっかけで初めて献血をしにいらした方が、採血をしている時に「輸血用の血液って、献血する人の力だけじゃなくて、献血の呼びかけをしている人や受付の人、問診のお医者さん、採血する看護師さん...たくさんの方たちの力で出来てるんだね」と仰ってくださったことがあり、今でも印象に残っています。私たち血液センターの職員は、これからも献血者の皆様の善意の献血が血液を必要としている患者さんに安全に届くまでの橋渡しをしていきたいと思っています。



ラブラッドアプリのご案内



献血の予約・事前の問診回答・献血後の血液検査の結果確認などができる便利なアプリができました!ぜひダウンロードしてご利用ください。

県内の献血ルームや献血バスの運行予定、各キャンペーン、血液に関する情報については、千葉県赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

習志野市赤十字奉仕団が 市民まつりで活躍

10月9日(日)習志野市で3年ぶりに開催された市民まつり「習志野きらっと2022」において、習志野市赤十字奉仕団60名が運営スタッフとして活動しました。

奉仕団は感染対策のため、各所に設けられた検温・消毒ステーションで参加者一人ひとりに検温を行ない、手指消毒を促し、リストバンドの着用をお願いしました。習志野市赤十字奉仕団 田所委員長は「市民まつりには、これまで清掃活動で協力してきましたが、今回はこのような形で市民の皆さんと交流することができ、また活動を知ってもらう機会をいただきありがたいです」と話していました。



避難所を想定した 訓練に参加

11月19日(土)神奈川県で「日本赤十字社第2ブロック支部総合訓練」が開催されました。本訓練は、神奈川県西部を震源とするマグニチュード8.4の地震により甚大な被害が発生し、近隣の支部から救護班が応援に入り、秦野市内の小中学校に設置された避難所で活動するという想定で行われました。

参加した成田赤十字病院の救護班は、避難者への巡回診療を行い、避難所の状況や医療ニーズを調査しました。また、発熱等の症状により感染症の疑いのある避難者には防護具を着用して診療にあたるなど、感染防止対策を意識した実践的な訓練となりました。



青少年赤十字メンバーが ベトナムと国際交流

11月25日(金)ベトナムと日本の青少年赤十字メンバーがオンラインで国際交流を行いました。参加した中高生メンバー6名は、英語を使って日本文化や自分たちの赤十字活動の紹介ができるよう、夏休みから語学奉仕団のサポートを受け準備を重ねてきました。

当日は一人ひとりが練習の成果を大いに発揮し、お互いの文化や活動への理解を深めることができました。参加した生徒からは「ベトナムをもっと知りたいと思ったし、もっと他の国の人に日本を知ってもらいたいと思った。視野が広がるととても良い機会だった」と感想がありました。



千葉県警察による 救急法普及

千葉県警察では、警察官が通報によって駆けつけた際などに人命を救助するための知識と技術を習得するため、赤十字救急法の指導員を養成し、訓練の一環として救急法講習会を県警本部や県内各警察署で行っています。

これまでも、駆けつけた現場で実際に人命救助にあたり、命を救った例が数多く報告されています。また、勤務中だけでなくプライベートにおいても人命救助を行った事例もあったとのこと。

県民の安全を守るため、使命感をもった警察官の方々が活躍しています。



今日も赤十字を支える ボランティア紹介

千葉県青少年赤十字賛助奉仕団 —青少年赤十字の輪を広げる—

結成年月日 | 昭和49年12月25日 団員数 | 185名(令和4年12月末時点)

学校で青少年赤十字の指導者として活動いただいた教員OB等で構成され、県内の各学校へ青少年赤十字を普及し採用を促進することを目的に、各地域や学校のニーズに合わせたボランティア活動や学習支援などを行なっています。



賛助奉仕団
香取地区委員長
小川 美由紀さん

青少年赤十字を知ったきっかけと現在の活動内容を教えてください。

教員になって初任の小学校が青少年赤十字採用校だったことがきっかけで、私は青少年赤十字と出会い、それ以来、青少年赤十字を教育の軸として取り入れてきました。現役を退いた現在は、教育支援員として小学校で勤務し、授業の補助や先生方のサポートなどを行っています。

青少年赤十字を取り入れた教育をされてきた中で印象的なエピソードはありますか？

東日本大震災が発災した際、かごにペットボトルを入れて自転車をこぐ児童と遭遇しました。話を聞けば、給水所でペットボトルに水を汲んで、一人暮らしのお年寄りのお宅を一軒一軒回って配っていると言うのです。相手のニーズに気づき、自分でできることを考え、行動に移しているこの児童には、とても驚いたと同時に嬉しい気持ちになりました。青少年赤十字は、態度目標に「気づき、考え、実行する」を掲げていますが、他者への思いやりの心を育むために必要な、主体性を重視した教育を行なっています。相手のニーズを考えられるということは、奉仕の精神を学ぶことでもありますが、人間関係を築く基礎にもなると思います。このような青少年赤十字の精神が、子どもたちの生活に活かされるように、という想いでこれからも青少年赤十字の普及を続けたいと思っています。



子どもたちの学習支援にあたる賛助奉仕団

先生方へ メッセージ

青少年赤十字には、防災教育など今のニーズに合った教育プログラムも多くあります。それをきっかけにぜひ多くの先生方に青少年赤十字を知っていただき、教育に取り入れてもらいたいです。

青少年赤十字
について



千葉県青年赤十字奉仕団 —若い力を結集して様々な活動を—

結成年月日 | 昭和38年12月25日 団員数 | 183名(令和4年12月末時点)

18~35歳の社会人や学生で構成され、社会人・学生で組織される「千葉分団」、学校内で組織される「学生分団」(7分団)、青少年赤十字メンバーOBで組織される「青少年赤十字OB分団」があり、若い力を結集して多岐に渡る活動を展開しています。



団員
市川 慶人さん 委員長
杉田 大晃さん

どんな活動をしていますか？

献血の呼びかけや街頭募金、花火大会やマラソン大会など地域行事での臨時救護活動のお手伝い、赤十字主催イベントの運営協力など、様々な活動をしています。



ジュニアライフセービング教室で参加者をサポートする青年奉仕団

この活動の特色を教えてください。

まず、普段の生活では接する機会の少ない幅広い世代の方と交流できることです。イベントなどで子どもに接する機会があったり、様々な経歴を持つ他の奉仕団の皆さんと協力して活動することもあるので、多種多様な考えや想いに触れることができ楽しいです。また、臨時救護活動のお手伝いなど、赤十字ならではのボランティア活動に参加できることも特色の1つです。マラソン大会で活動した際には、ランナーが倒れてしまい、安全奉仕団の方がAEDを使用した一次救命処置をしたことがありました。ボランティアとはいえ、私たちの活動は人の命に直結する場面に遭遇することもあるので、救急法などの勉強が必要だと思っています。ちなみに、そういった活動に参加する時には事前の研修会で担架を使った搬送方法や車椅子の扱い方などを学ぶので安心です。

団員 募集中!!

興味・関心や、参加できるタイミングに合わせて柔軟に参加できます。「人の力になりたい」という思いのある方、その気持ちだけで入団大歓迎です！ぜひ一度ご連絡ください。

申込は
こちら

soshiki@
chiba.jrc.or.jp



動画で見る赤十字

赤十字救急法フェスタ

9月29日(木)4年ぶりに開催された「赤十字救急法フェスタ2022」。

いのちをつなぐ救急法リレーでは、千葉県内から参加した約40チームが三角巾による手当てをリレー形式で行い、レベルの高い手技を披露するなど、奉仕団員の皆さんの緊張感と充実感のある様子をご覧ください。

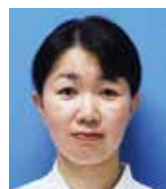


支部創立130周年記念動画

令和4年11月に創立130周年を迎えたことを記念し、職員やボランティアによる赤十字活動の発表や、青少年赤十字採用校による記念演奏の様子を動画におさめました。

(本動画は、令和4年11月7日に開催を予定していた「支部創立130周年記念千葉県赤十字大会」にて発表・披露を予定していた内容を動画にしたものです)

赤十字活動の体験発表



新型コロナウイルス感染症 への対応について

成田赤十字病院 看護師長
黒川 真弓



新型コロナウイルス感染症の流行初期から、重症者を中心に多数の患者さんを受け入れてきた成田赤十字病院。そうした新型コロナウイルスとの奮闘の日々の中で感じてきた不安や苦悩、そして大きな活力となった皆様からのご支援や励ましの言葉等について、感染症病棟の看護師長が発表します。



コロナ禍に想う 千葉県赤十字奉仕団

千葉県赤十字奉仕団支部委員会
委員長 大坪 絢子



千葉県に赤十字奉仕団が創立されてから来年で75周年を迎えますが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、絶え間なく続けてきた奉仕活動を自粛せざるを得ない状況になりました。しかし、コロナ禍でも感染対策を講じながら工夫して続けてきた様々な活動等について発表します。

千葉県立千葉女子高等学校合唱部による記念演奏

千葉県立千葉女子高等学校合唱部は、今年で創部123年目を迎える伝統ある部活動です。今回のために、部員の皆様が赤十字関係者には馴染み深い「あこがれの赤十字」をはじめとした素敵な楽曲の数々を用意してくださいました。心のこもった美しいハーモニーをお届けします。



「赤十字NOW」読者アンケート

よりよい広報紙をお届けするため、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。



活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和4年度第2四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

秋草産婦人科 藤原小児科医院(四街道市)
鶴沢建設株式会社(千葉市若葉区)
株式会社 エスコポレーション(船橋市)
株式会社 エバック(浦安市)
かすみメンテナンス株式会社(松戸市)
キッコーマン株式会社(東京都港区)

株式会社 京葉銀行(千葉市中央区)
伸和ピアノ株式会社(千葉市花見川区)
株式会社 千葉銀行(千葉市中央区)
株式会社 千葉興業銀行(千葉市美浜区)
株式会社 坪井設計(船橋市)
社会福祉法人 南小中台福祉会 南小中台保育園(千葉市稲毛区)

明治安田生命保険相互会社 千葉本部(千葉市中央区)
明正工業株式会社(千葉市緑区)
米屋産業株式会社(成田市)
医療法人社団 理正仁会 香取医院(香取市)
株式会社 リロスタイル(市川市)